

第90期

中間報告書

(令和4年4月1日から)
(令和4年9月30日まで)



中日本興業株式会社

令和4年12月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は第90期第2四半期累計期間（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

事業の概況	2
四半期貸借対照表	5
四半期損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株主総会資料の電子提供について	

事業の概況

当第2四半期累計期間のわが国経済は、不安定な国際情勢による原材料の価格高騰や急速に進んだ円安等により、個人消費や企業収益に影響を及ぼすなど厳しい状況で推移いたしました。また、新型コロナウイルス感染症につきましては、新種株による感染者数は増加しましたが、経済・社会活動の行動制限緩和等によりコロナ前の状況を徐々に取り戻しながら推移いたしました。

このような状況のもと当社では、引き続き同感染症の感染予防対策を施すことで、お客様が安心してご利用いただける環境を提供してまいりました。

この結果、売上高は17億40百万円(前年同期比32.7%増)、営業利益は14百万円(前年同期は営業損失1億54百万円)、経常利益は26百万円(前年同期は経常損失1億10百万円)、四半期純利益は14百万円(前年同期は四半期純損失84百万円)となりました。

なお、中間配当金は、11月9日開催の取締役会において、当社の配当方針に則り、1株当たり30円とし、支払開始日を12月2日と決定いたしております。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

シネマ部門では、名古屋地区の映画・映像の情報発信基地として、より豊富なラインナップの提供を実現し、上映作品数も大幅に増加させました。

また、さまざまなイベント上映も積極的に実施するなどエンターテインメント性の高い劇場運営にも努めてまいりました。

洋画作品につきましては、ハリウッド映画が復活し、好調なアニメ作品と共に堅調に推移いたしました。

当上半期の主な上映作品として、邦画では、5月公開「シン・ウルトラマン」、7月公開「キングダム2 遙かなる大地へ」、「今夜、世界からこの恋が消えても」、9月公開の「沈黙のパレード」、洋画では、4月公開「ファンタスティック・ビーストとダンブルドアの秘密」、5月公開「ドクター・ストレンジ マルチバース・オブ・マッドネス」、「トップガン マーヴェリック」、7月公開の「ジュラシック・ワールド 新たなる支配者」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」、6月公開「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、7月公開「ミニオンズ フィーバー」、8月公開の「ONE PIECE FILM RED」、ODS(映画以外

のデジタルコンテンツ)では、4月公開「シネマ歌舞伎 桜姫東文章」、6月公開の「METライブビューイング プッチーニ《トゥーランドット》」、 「ゲキ×シネ『狐晴明九尾狩』」などの番組を編成いたしました。

その他に、お客様参加型のトークイベント付上映会の実施や、お笑いライブ「よしもと名駅四丁目ライブ」など、バラエティに富んだラインナップを揃えてまいりました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、体に優しい食材の提供・商品開発に臨むとともに、お寛ぎいただける空間の創造に努めてまいりました。名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画とのコラボ企画の実施や各種イベントに出店を試みるなど認知度アップにも努めてまいりました。

この結果、当事業では売上高は15億97百万円、営業利益は20百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、行動制限などによるイベント・展示会の開催自粛によってプロモーションメディアの売上が伸び悩み、映画関連についても大型案件の受注が難しく、大変厳しい状況が続きました。

この結果、当事業では売上高は1億1百万円、営業損失は21百万円となりました。

【不動産賃貸事業】

当事業は、商業施設賃貸を中心に事業を行い、同感染症の影響を受けることなく、賃貸物件の稼働率が上昇し順調に推移いたしました。

この結果、当事業では売上高は40百万円、営業利益は16百万円となりました。

今後の見通し

引き続き不安定な国際情勢による原材料の価格高騰や円安による影響等により、先行き不透明な状況が続くものと思われま。しかしながら、同感染症の影響による行動制限緩和等はさらに進み、経済全般は回復基調になると思われま。

このような状況のもと当社では、引き続き同感染症の感染予防対策を施しながら、一層のサービスの充実を図ってまいります。また、原材料等の高騰にも考慮しながら、利益の確保に努めてまいります。

シネマ事業では、引き続き上映作品数の増加やイベントの強化、ならびに映画館のファンを増やすため、シネマ会員の利用率の向上についても取り組んでまいります。

当下半年の主な上映作品としまして、邦画では、12月公開「ラーゲリより愛を込めて」、[Dr.コトー診療所]、1月公開「THE LEGEND & BUTTERFLY」、3月公開の「シン・仮面ライダー」、洋画では、12月公開「ブラックアダム」、[アバター ウェイ・オブ・ウォーター]、1月公開「イニシエリン島の精霊」、3月公開の「シャザム! 神々の怒り」、アニメでは、11月公開「すずめの戸締まり」、12月公開「THE FIRST SLAM DUNK」、[かがみの孤城]、3月公開の「映画ドラえもん のび太と空の理想郷」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」,[METライブビューイング]など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、コアなアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」においても、より充実した番組編成をしております。

飲食部門は、魅力ある新商品の開発に注力し、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。また、店舗のファンを増やすべくイベントの強化にも努めてまいります。

アド事業では、今後活発になる各種プロモーションイベント・展示会等への積極的な提案営業を図り、なおかつお客様をサポートすることで、売上の回復および向上を図ってまいります。

不動産賃貸事業では、業績は当面安定推移の見込みであり、所有不動産の有効活用につきましては、引き続き前向きに検討していきたいと考えております。

サービス業を営んでいる当社は、新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

四半期貸借対照表

(令和4年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,451,359	流 動 負 債	679,951
現金及び預金	833,558	買掛金	376,028
売掛金	203,201	リース債務	52,821
有価証券	300,000	契約負債	41,335
商品及び製品	8,994	未払費用	96,190
原材料及び貯蔵品	1,611	賞与引当金	16,570
前払費用	33,199	その他	97,005
預け金	39,884		
その他	30,909		
固 定 資 産	2,891,907	固 定 負 債	449,667
有形固定資産	(1,785,418)	リース債務	118,893
建物	886,268	退職給付引当金	72,147
構築物	615	長期未払金	21,500
機械装置	42,229	資産除去債務	87,773
器具備品	160,391	受入保証金	96,048
土地	695,913	繰延税金負債	53,305
無形固定資産	(36,002)	負 債 合 計	1,129,618
電話加入権	1,147	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	34,855	株 主 資 本	3,064,676
投資その他の資産	(1,070,486)	資本金	(270,000)
投資有価証券	496,466	資本剰余金	(13)
関係会社株式	10,000	資本準備金	13
差入保証金	534,693	利 益 剰 余 金	(2,865,772)
長期前払費用	29,325	利益準備金	67,500
		その他利益剰余金	2,798,272
		配当準備積立金	144,248
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	274,023
		自 己 株 式	(△71,109)
		評価・換算差額等	148,971
		その他有価証券評価差額金	(148,971)
資 産 合 計	4,343,267	純 資 産 合 計	3,213,648
		負 債 純 資 産 合 計	4,343,267

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(令和4年4月1日から
令和4年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		1,740,046
売 上 原 価		916,377
売 上 総 利 益		823,669
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		809,294
営 業 利 益		14,374
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	6,223	
協 賛 金 収 入	198	
助 成 金 収 入	9,748	
雑 収 入	697	16,867
営 業 外 費 用		
長 期 前 払 費 用 償 却	3,034	
雑 損 失	1,939	4,973
経 常 利 益		26,268
税 引 前 四 半 期 純 利 益		26,268
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	5,661	
法 人 税 等 調 整 額	5,645	11,306
四 半 期 純 利 益		14,961

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (令和4年9月30日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO., Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目5番28号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 52名

■ 主要な事業所 (令和4年9月30日現在)

<劇場>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji.Coo. 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー 名古屋市中村区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区
中日本エージェンシー 東京営業室 東京都千代田区

<賃貸不動産>

覚王山フランテ 名古屋市中村区
覚王山ビル 名古屋市中村区
覚王山会館 名古屋市中村区

- (注) 1. 劇場の () 内の数字は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」および「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズとの共同事業体が運営しております。

■ 役員（令和4年9月30日現在）

代表取締役社長 服部 徹 感動創造支援本部本部長

常務取締役 貴田吉晴 感動創造本部本部長
興行部担当

取締役 小塚 康 感動創造本部副本部長
企画営業部担当

取締役 山村知秀 (社外取締役)

取締役 高橋敏弘 (社外取締役)

常勤監査役 細川秀樹

監査役 岡本安史 (社外監査役)

監査役 田中誠治 (社外監査役)

執行役員 加藤康章 感動創造支援本部副本部長
経理部担当

執行役員 服部敬徳 感動創造支援本部
総務部担当 総務部部長

執行役員 上村慎治 感動創造支援本部
経営企画部担当 経営企画部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報をご覧いただけます。

<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況 (令和4年9月30日現在)

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	530,703株 (自己株式9,297株を除く)
株主数	2,925名 (前期末比8名増)

■ 大株主 (令和4年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
トヨタ不動産株式会社	40,000株	7.53%
トヨタ自動車株式会社	30,000株	5.65%
松竹株式会社	20,000株	3.76%
株式会社三菱UFJ銀行	5,400株	1.01%
服部 徹	5,200株	0.97%
廣野 純 弘	4,392株	0.82%
濱谷 亘 匠	4,300株	0.81%
岡本 藤 太	3,700株	0.69%
服部 敬 徳	3,000株	0.56%
横山 秀 昭	2,800株	0.52%

(注) 1. 持株比率は、自己株式 (9,297株) を控除して計算しております。

2. 東和不動産株式会社は、令和4年4月27日付けでトヨタ不動産株式会社に変更いたしました。

■ 所有者別株式分布状況 (令和4年9月30日現在)

所有者	株主数	比率	株式数	
			株式数	比率
金融機関	1名	0.03%	5,400株	1.00%
金融商品取引業者	2名	0.07%	108株	0.02%
その他の法人	50名	1.71%	102,500株	18.98%
外国法人等	0名	0.00%	0株	0.00%
個人・その他	2,871名	98.16%	422,695株	78.28%
自己名義株式	1名	0.03%	9,297株	1.72%
計	2,925名	100.00%	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末日）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末日現在の株主の皆様は8，9，10月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」および11，12，翌年1月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、株主の皆様にご送付いたします。

9月末日現在の株主の皆様は2，3，4月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」および5，6，7月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

	使用期間三ヶ月	半 期
	映画＋カフェ	映画＋カフェ
100株以上	5枚 + 1枚	10枚 + 2枚
200株以上	10枚 + 2枚	20枚 + 4枚
300株以上	15枚 + 3枚	30枚 + 6枚
400株以上	20枚 + 4枚	40枚 + 8枚
500株以上	25枚 + 5枚	50枚 + 10枚
1,000株以上	40枚 + 8枚	80枚 + 16枚
2,000株以上	50枚 + 10枚	100枚 + 20枚
4,000株以上	75枚 + 15枚	150枚 + 30枚

ご利用可能施設

映画館		住 所	電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911
カフェ		住 所	電話番号
覚王山カフェ Ji.Coo.		名古屋市中村区丘上町1-39 覚王山フロンテ2F	(052) 751-1234
ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー		名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル1F	(052) 583-5541

※株主ご優待券のご利用については、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/company/>

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 メイン市場 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	https://www.nakanihonkogogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株主総会資料の電子提供について

会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が施行されました。
当該制度に関するリーフレットを同封しておりますので、ご参照ください。

